

微小粒子状物質健康影響評価検討会 曝露・毒性・疫学ワーキンググループの設置について

1. 目的

微小粒子状物質健康影響評価検討会（以下、「親検討会」という）における実務的な検討作業及び評価文書の作成を行うため、曝露、毒性、疫学の3分野のワーキンググループを設置する。

2. 運営方針

(1) 構成及び運営

- ・各ワーキンググループは、それぞれ曝露、毒性学及び疫学に関する学識経験者を委員として構成する。
- ・各ワーキンググループには座長をおき、座長は会議の議事運営にあたることとする。
- ・座長は親検討会において委員の互選により選出する。

(2) 議事等の公開

- ・ワーキンググループ及びワーキンググループにかかる資料は、各分野における実務的な検討作業を進める過程において、当該分野に係る知見及び文献等に対する科学的見地からのワーキンググループ委員の自由な議論を妨げるおそれがあること、意志決定の中立性が損なわれるおそれがあることから、議事及び配付資料は非公開とする。ただし、ワーキンググループで検討された事項は親検討会に報告するものとする。

3. ワーキンググループにおける検討事項

各ワーキンググループはそれぞれ以下の事項について検討を進めることとする。

曝露ワーキンググループ

- ・粒子状物質に関する特性
- ・微小粒子状物質の曝露評価

毒性ワーキンググループ

- ・微小粒子状物質の生体内沈着・体内動態
- ・毒性学研究を中心とした微小粒子状物質の健康影響メカニズムに関する検討

疫学ワーキンググループ

- ・疫学研究を中心とした微小粒子状物質の有害性同定に関する検討

4. ワーキンググループ委員の選任

ワーキンググループ委員は、3に示す検討事項について知見を有する者より選任し、別紙の委員名簿に示す学識経験者とする。

微小粒子状物質健康影響評価検討会 委員名簿

	氏名	所属
曝露 WG	大原 利眞	独立行政法人国立環境研究所環境健康研究領域アジア自然共生グループ広域大気モデリング研究室 室長
	小林 伸治	独立行政法人国立環境研究所社会環境システム研究領域交通・都市環境研究室 室長
	●坂本 和彦	埼玉大学大学院理工学研究科 教授
	田村 憲治	独立行政法人国立環境研究所環境健康研究領域総合影響評価研究室 主任研究員
	西川 雅高	独立行政法人国立環境研究所環境研究基盤技術ラボラトリー環境分析化学研究室 室長
	溝畑 朗	大阪府立大学産学官連携機構先端科学イノベーションセンター長
	若松 伸司	愛媛大学農学部生物資源学科 教授
毒性 WG	阿部 信二	日本医科大学内科学講座 呼吸器・感染・腫瘍内科 講師
	安達 修一	相模女子大学学芸学部食物学科公衆衛生学 教授
	川本 俊弘	産業医科大学医学部衛生学講座 教授
	小林 隆弘	東京工業大学 総合研究室 ソリューション研究機構 特任教授
	●高野 裕久	独立行政法人国立環境研究所環境健康研究領域 領域長
	青柴 和徹	東京女子医科大学大学院呼吸病態制御学 教授
	局 博一	東京大学大学院 農学生命科学研究科 獣医学専攻 比較病態生理学教室 教授
	藤巻 秀和	独立行政法人 国立環境研究所環境リスク研究センター 高感受性影響研究室 室長
	松本 亜紀	日本医科大学内科学講座 呼吸器・感染・腫瘍内科
疫学 WG	磯 博康	大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学講座公衆衛生学 教授
	小野 雅司	独立行政法人国立環境研究所環境健康研究領域 総合影響評価研究室 室長
	佐藤 俊哉	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療統計学 教授
	島 正之	兵庫医科大学公衆衛生学 教授
	祖父江友孝	国立がんセンターがん対策情報センターがん情報・統計部 部長
	中井 里史	横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授
	中館 俊夫	昭和大学医学部衛生学 教授
	●新田 裕史	独立行政法人国立環境研究所環境健康研究領域 環境疫学研究室 室長